県民だより

あおもり

2020
4
April
No.180

青森県広報広聴課公式 Facebook
青森県広報広聴課
青森県広報広聴課公式 Twitter
@aomorist
青森県広報広聴課公式 Instagram
県民だよりあおもり

表紙：制作テーマ
新しくて幸せな未来へ

作：依田 絵里（よだ えり）
今別町在住。グラフィックデザイナー。
2017年外ヶ浜町にEmold design設立。
東青地域中心に活動中。

CONTENTS／目次

［特集］
青森で生きることの魅力を
若者に伝えよう ▶P2-3
3Rでごみを減らそう！ ▶P4
迫る東京2020大会！／
令和2年度一般会計 ▶P5

［連載］
地域から魅力発信！
「ハッピー♡リレー」〈東青地域〉／
地域の旬食材レシピ ▶P6

青森の未来に全力！県職員最前線リポート
「青森空港からの空の旅をもっと身近に！」／
「『青森の縄文遺跡群』活用推進ビジョン」を策定しました／
令和2年国勢調査の調査員を募集します！ ▶P7

申吾のほっとコラム／
あおもりインフォメーション ▶P8

青森で生きることの魅力を若者に伝えよう

青森県基本計画「選ばれる青森」への挑戦
支え合い、共に生きる

Vol.6

２０２０年度がスタートしました。今年度は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。本県でも、6月に聖火リレー、8月にパラリンピック聖火フェスティバルが行われることとなっています。

２０２１年度の世界文化遺産登録をめざす「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、今年の秋頃にはイコモス（国際記念物遺跡会議）による現地調査が行われる予定となっており、今年はまさに勝負の年となります。

一方で、今年度は、「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」の2年目を迎えます。本県の人口減少は、依然として厳しい状況が続いていますが、基本計画に掲げる5つの戦略プロジェクト、特に、若者・女性の県内定着とＵＩＪターンなどによる県外からの還流、結婚・出産・子育てしやすい環境づくりに重点的に取り組み、人口減少の克服をめざします。

若者・女性の県内定着・還流を進めるためには、周りの大人の方々の協力も必要になります。青森県には、多くの課題がありますが、一方で、様々な魅力もあります。ぜひ、若い人たちに「青森で生きる」という選択肢がある、ということを伝えていただきたいと思います。

県民の皆さんの力を合わせ、一人でも多くの若者・女性の県内定着・還流を実現していきましょう。

特集 青森で生きることの魅力を若者に伝えよう

2020「選ばれる青森」へのチャレンジ

「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」とは…

2019年度から2023年度までの5年間の県の取組の方針をまとめたものです。「選ばれる青森」には、若者から学ぶ場所・働く場所・生きる場所として「選ばれる青森」、また、食や観光をはじめ本県の価値が国内外から「選ばれる青森」をめざす、という意味があります。

青森県の最重要課題である人口減少の克服をめざし、
「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」の5つの戦略プロジェクトを進めます。
2020年度は特に、若者・女性が青森県に定着する、
あるいは、一度県外に出た後に戻ってくるための取組に力を入れていきます。

学生のUIJターンに向け
首都圏の大学など14大学と連携協定を締結
(2020年4月1日現在)

子育てしながら働きやすい!
待機児童0(ゼロ)(2019年4月1日現在) 全国第1位
延長保育が充実(2017年度) 全国第1位

「住みたいあおもり」若者・女性プロジェクト

青森県のしごとと暮らしの魅力を発信

青森県の「しごと」と「暮らし」に関する最新の情報を、
若い人たちはもとより、保護者や学校の先生など周りの大人の方々にも伝えていきます。
女性の活躍の場を広げることや、結婚・妊娠・出産・子育てのしやすい
環境づくりに取り組むほか、移住を考える方へのサポートを強化していきます。

主な取組

	高校生	大学生	社会人
県内就職支援	●就職支援員の配置 ●県内就職者との交流等		
移住・UIJターン就職の促進		●首都圏大学等とのUIJターン就職連携協定締結 ●首都圏・仙台での還流促進交流会開催 ●UIJターン促進交通費助成 ●Web、アプリを活用した県出身者への情報発信	●先輩移住者の生の声発信(web等) ●合同移住フェア等の開催
女性活躍の推進、女性が働きやすい環境づくり		●女子学生向けの取組(女子就活・定着サポーターズ『あおもりなでしこ』による交流会、企業見学会等)	●ワーク・ライフ・バランスの推進 ●現場の環境改善 ●夫婦の対等なパートナーシップ形成促進
「しごと」と「暮らし」の情報発信	●Web、冊子等の啓発ツール制作・発信	●ふるさとあおもり応援大使(仮称)任命 ●企業の採用活動への参画による交流	
県内の企業を知る機会の提供	●求人情報の早期提供 ●企業訪問・交流機会提供 ●農林水産業、建設業など分野ごとの情報発信	●「就活カフェ」開催 ●企業訪問・交流機会提供 ●インターンシップ拡大(マッチング会、企業向け研修) ●学内セミナー、保護者会でのPR ●就職情報誌作成	

地域への自信と誇り・愛着の醸成、変わってきている青森県についての理解促進

保護者・教員	県内就職するメリットの普及啓発、県内企業への理解を深める機会の提供	●保護者・教員のための県内企業説明会 ●県内就職に関する保護者向けセミナー ●保護者・教員対象の県内企業見学会、採用担当者との交流会 ●保護者に対する県内定着の意識醸成 ●県内定着プロモーション支援ツール(教員用)作成
県内企業等	採用活動支援、採用力の向上、雇用環境の向上	●県内企業PRツール制作・発信(企業紹介Web、冊子等) ●県内企業説明会等PR機会提供 ●経営者の意識醸成講演会 ●採用ノウハウ習得支援 ●インターンシップマッチング会、受入研修 ●学生の視点やアイデアの活用による採用スキル向上支援 ●誘致企業の求人活動への同行
結婚・妊娠・出産・子育てしやすい環境づくり		●若いうちから「ライフプランを考える機会」の提供 ●結婚を希望する男女の出会いやマッチングの支援 ●結婚や子育てを応援する「あおもり働き方改革推進企業」の拡充

多様なしごと創出プロジェクト

誰もがやりがいのある しごとづくり

若い人たちが青森県で安心して働くことができるよう、
生活の基盤となる多様なしごとづくりに取り組みます。
人手不足に対応し、誰もが働きやすい環境づくりや、
AIやIoTなどの革新技術の活用によって
業務の効率性を高める取組などを進めます。

主な取組

【ビジネス拡大のために】

◎AIやIoTを活用した新たなビジネスの創出に取り組みます。
◎県内企業と台湾企業とのマッチングや
海外ビジネスへのチャレンジを応援します。
◎短時間で調理可能な食品の商品開発などを支援します。

【働く人のために】

◎就職を希望する人と人財を確保したい県内企業に
ワンストップで対応する総合支援センターを設置します。
◎ICT技術の活用による農林水産業、
建設業などの業務効率化や省力化に取り組みます。

年間100名以上の方が
県内で創業スタート!
創業者数(2014年度) 56人 → 創業者数(2018年度) 126人

食と観光成長プロジェクト

「食」と「観光」でさらなる成長

本県が誇る「食」と「観光」のつながりを一層強め、
本県の魅力を国内外に強力に発信することによって、
知名度やブランド力を高め、「経済を回す」仕組みづくりの
けん引役として、更なる成長をめざします。

5年半ぶりの新規国内定期路線
FDA青森－神戸線
就航決定
(2020年3月)

本県の農業算出額
4年連続3,000億円超え
東北では15年連続 第1位

主な取組

【食を売り込むために】

◎「青天の霹靂」「ジュノハート」をはじめ、県産品をさらに
広く多くの方にPRし、ブランドの確立に取り組みます。
◎大手量販店等との通常取引の拡大、西日本エリア・
アジアなどの国内外市場の販路拡大に取り組みます。

【観光客を増やすために】

◎国内・国際航空路線の充実・強化をめざします。
◎観光客が青森の夜を楽しめる
新コンテンツの開発に取り組みます。
◎県内5美術館が連携した
アートツーリズムを展開します。

未来へつなぐ「地域のゆりかご」プロジェクト

誰もが安心して 暮らせる地域へ

誰もが生まれ育った地域で生きがいを持って働き、
元気に老後を迎えられるよう、農山漁村などの集落を守り、
地域に住む人たちがお互いに支え合い、安心して医療や
保健サービスが受けられる環境づくりなどに取り組みます。

主な取組

◎見守り・買物・配食などの生活サービスの
実施を支援するほか、市町村と地域住民のつなぎ役となる
中間支援組織の活躍を促進します。
◎地域に「つどいの場」を増やすため、
専門人材の育成や勉強会の開催に取り組みます。
◎高齢農家の方々の農作物の集荷や
商品の配達を支援する仕組みづくりを進めます。
◎貧困などの課題を持つ子どもや保護者を支援するため、
「子どもの居場所」づくりを進めます。
◎誰もが安心して移動・外出できる地域公共交通ネットワークの構築に取り組みます。

高齢者や多くの世代が自由に集まれる
「つどいの場」設置数
522カ所(2017年) → 761カ所(2019年)

健康ライフ実現プロジェクト

元気で長生き 一人ひとりの健康づくり

県民の皆さんが心身ともに健康的な生活を送り、
長生きできるよう、健康意識の向上、
食生活や運動をはじめとする生活習慣の改善、
こころの健康づくりなどに取り組みます。

主な取組

◎「上手な医療のかかり方」のPRに取り組みます。
◎だしのうま味で塩分控えめをめざす「だし活」と、
野菜を食べて塩分を排出する「だす活」により、減塩対策を進めます。
◎喫煙・受動喫煙が健康に与える影響を広く県民の皆さんにお知らせします。
◎高齢者の居場所づくり支援、壮年期男性のメンタルヘルス対策、
子ども・若者の相談支援など、こころの健康づくりに取り組みます。

減塩を推進する「だし活」&「野菜で健康大作戦」
など健康づくりの普及啓発活動により
県民の野菜摂取量が増加!

関連番組放送予定▶青森放送「大好き、青森県。」4月19日(日)17:00～17:15

スリーアール
3Rでごみを減らそう!

目標達成まで あと22g!

1人1日あたりのごみの量
全国43位(平成29年度)

目標 980g

青森県	全国
1,002g	920g

リサイクル率
全国41位(平成29年度)

目標 25.0%

青森県	全国
15.0%	20.2%

県民1人1日あたりのごみ排出量・リサイクル率は着実に改善し、目標達成まで、あと22g！
次世代の子どもたちのためにも
毎日の暮らしの中で
「もったいない」の意識を持ち
みんなで目標達成を
めざしましょう！

青森県ごみ減量応援キャラクター「ヘルーちゃん」

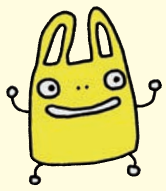
Reduce(リデュース) ごみになるものを減らすこと

Reuse(リユース) ものを繰り返し使うこと

Recycle(リサイクル) 資源として再利用すること

3R行動の5つのポイント

1 環境にやさしい買い物



マイバッグを持ち歩く、簡易包装にする、詰め替え商品を使うなど、“ごみを出さない”環境にやさしい買い物を心がけましょう。

2 紙ごみの分別

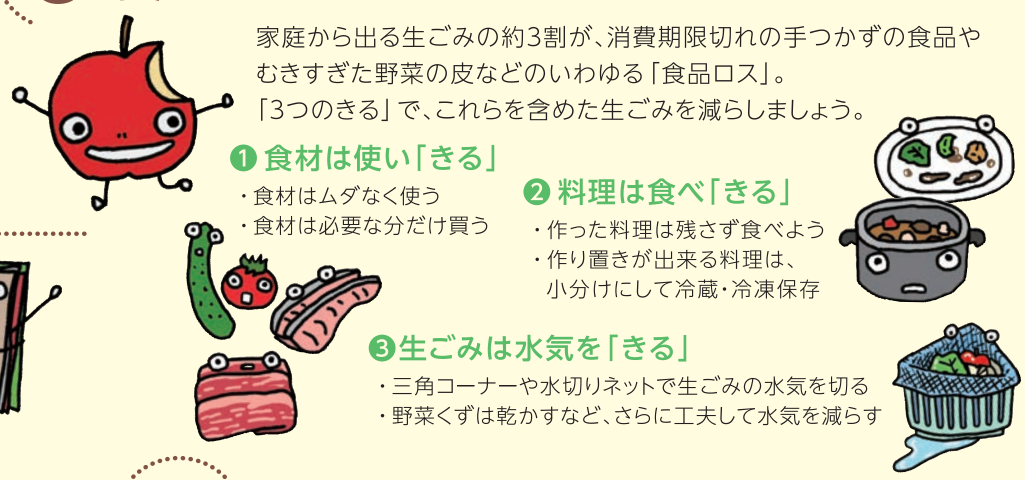
新聞や本・雑誌以外の雑紙(その他紙)もしっかり分別し、決められた回収日に出しましょう。

雑紙(その他紙)はこんな紙です!

- ◎トイレットペーパーの芯
- ◎ラップの箱・芯(金属は取る)
- ◎缶ジュースなどの紙パック
- ◎包装紙
- ◎手提げ袋
- ◎ティッシュの箱(ビニールは取る)
- ◎食品の箱
- ◎贈答品の紙箱
- ◎名刺
- ◎封筒
- ◎ダイレクトメール

雑紙の上手なまとめ方
小さな雑紙は古封筒や紙袋に入れてまとめると便利です。

3 食品ロスをへらす



家庭から出る生ごみの約3割が、消費期限切れの手つかずの食品やむきすぎた野菜の皮などのいわゆる「食品ロス」。
「3つのきる」で、これらを含めた生ごみを減らしましょう。

❶食材は使い「きる」
- 食材はムダなく使う
- 食材は必要な分だけ買う

❷料理は食べ「きる」
- 作った料理は残さず食べよう
- 作り置きが出来る料理は、小分けにして冷蔵・冷凍保存

❸生ごみは水気を「きる」
- 三角コーナーや水切りネットで生ごみの水気を切る
- 野菜くずは乾かすなど、さらに工夫して水気を減らす

4 衣類のリユース・リサイクル

サイズが合わないなど不要になった衣類もリサイクル。古紙リサイクルセンターや市町村回収へ。(お住まいの市町村へ確認)

5 集団回収や店頭回収などの利用

町会やPTA、子ども会などが行っている集団回収やスーパーなどの店頭回収、古紙リサイクルセンターなど上手に活用しましょう。

環境政策課 ☎017-734-9249

関連番組放送予定▶青森朝日放送「メッセージ」4月11日(土)9:30〜9:35

PCBが使用されている「古い照明器具」はありませんか?

PCB(ポリ塩化ビフェニル)は、主に油状の化学物質で、かつて、電気機器の絶縁油やノンカーボン紙などの製品に使用されていましたが、その後、人体に有害であることが判明したため、製造と輸入が禁止されました。

現在は、**法律により期限内での処分が義務付け**られており、期限を経過すると、法律により罰せられることがあります。

PCBを含む製品で最も多いのが、**蛍光灯や水銀灯などの照明器具の中にある安定器**です。

一般家庭用の建物にPCBは使われていませんが、事業用の建物や、かつて事業を営んでいた建物(例:事務所、床屋、商店など)には、PCBを使用した安定器が残っている可能性があります。

照明器具の安定器を確認する方法が動画で視聴できます。事業用の建物をお持ちの方は、以下により確認してくださるようお願いします。

【安定器の処分期限】
令和5年(2023年)3月31日

詳しくは、県庁HP PCB 検索

環境保全課 ☎017-734-9248

関連番組放送予定▶青森テレビ「みんなの県庁!」4月18日(土)16:55〜17:00

迫る東京2020大会！

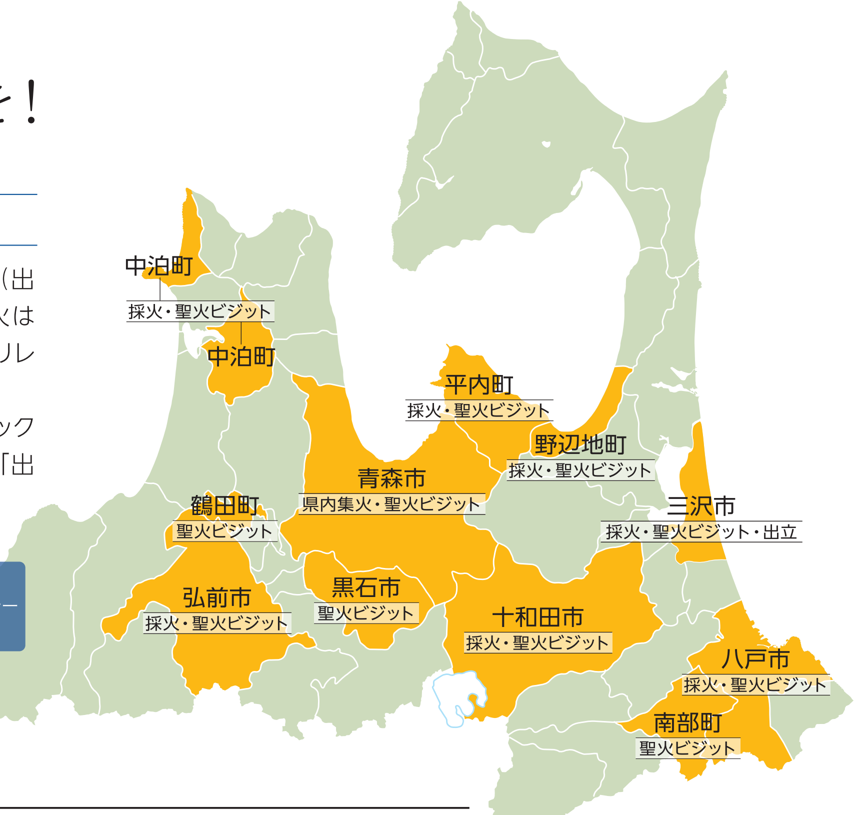
オリンピック聖火リレーだけじゃない！
パラリンピック聖火リレーにもご注目を！

パラリンピック聖火リレーを知っていますか？

パラリンピック聖火リレーはオリンピック聖火リレーとは全く様子が異なります。

東京2020パラリンピック聖火リレーでは、全国47都道府県がそれぞれ独自の手法で火を起こし（採火）、パラリンピックゆかりの地などへ炎の訪問（聖火ビジット）を行った後、炎を一つに統合（県内集火）し、最後に開催都市東京都への火の送り出し（出立）を行います。その後、送り出された火は東京都で一つになり、開催都市内聖火リレーが開催されることになります。

これらすべてをまとめて「パラリンピック聖火リレー」と呼び県内では「採火」から「出立」までが行われます。



東京2020
パラリンピック聖火リレー
県内実施市町一覧

採　火	8月16日	弘前市	史跡 大森勝山遺跡
		八戸市	史跡 是川石器時代遺跡
		十和田市	十和田市役所前広場
		三沢市	青森県立三沢航空科学館/大空ひろば
		平内町	夜越山森林公園
		中泊町	宮越家庭園
		野辺地町	柴崎地区健康レクリエーション施設
県内集火	8月16日	青森市	特別史跡 三内丸山遺跡
出　立	8月17日	三沢市	青森県立三沢航空科学館/大空ひろば

聖火ビジット

県内では障害者福祉施設や学校等を中心に、8月16日、17日の2日間、県内11市町に聖火が訪れます。訪問市町（青森市、弘前市、八戸市、黒石市、十和田市、三沢市、平内町、鶴田町、中泊町、野辺地町、南部町）

東京2020オリンピック聖火リレー県内詳細ルートが公表されました

目前に迫ったオリンピック聖火リレー！ 聖火ランナーを応援する機会はもう二度と来ない?! ぜひお近くの沿道から聖火ランナーを応援しよう！

■ 1日目：6月11日（木）［セレブレーション会場／青森市 青い海公園］

順	市町村名	出発予定地	出発時間	到着予定地	到着時間	走行距離
1	弘前市	弘前公園(本丸)☆	10:15	ドコモショップ弘前駅前店前	10:48	2.5km
2	西目屋村	岩木川目屋渓谷清流公園	10:50	道の駅 津軽白神★	11:26	2.0km
3	平川市	平川市文化センター	11:37	平川市陸上競技場★	12:09	2.5km
4	黒石市	スポカルイン黒石★	14:21	御幸公園	14:42	1.6km
5	つがる市	生涯学習交流センター 松の館★	16:05	つがる市立向陽小学校	16:32	2.1km
6	五所川原市	立佞武多の館★	17:10	菊ヶ丘運動公園	17:36	2.0km
7	今別町	今別町役場★	18:00	青函トンネル入口広場	18:36	2.8km
8	青森市	青森市役所本庁舎	18:59	青い海公園	19:32	2.5km

☆：出発式　★：ミニセレブレーション

■ 2日目：6月12日（金）［セレブレーション会場／八戸市 館鼻漁港］

順	市町村名	出発予定地	出発時間	到着予定地	到着時間	走行距離
1	むつ市	むつ市イベント広場☆	9:45	下北文化会館	10:29	3.0km
2	十和田市	市民交流プラザ	10:31	現代美術館アート広場★	11:06	2.7km
3	三沢市	三沢市立岡三沢小学校★	13:40	三沢市役所	14:16	2.9km
4	おいらせ町	青森県立百石高等学校★	15:24	おいらせ町立木内々小学校	15:56	2.5km
5	階上町	小舟渡漁港	17:12	はしかみハマの駅あるでぃ〜ば★	17:56	3.5km
6	十和田市（十和田湖）	十和田湖観光交流センター★	18:30	乙女の像	18:41	0.9km
7	八戸市	蕪嶋神社	18:57	館鼻漁港	19:40	3.4km

※オリンピック聖火リレー当日は、走行時間前後で交通規制が行われますので、交通規制情報にご注意の上お越しください。

詳しくは、県庁HP 東京 2020 聖火リレー 検索

企画調整課 ☎017-734-9136

令和2年度一般会計当初予算は6,816億円（対前年度比2.5％増）

平成30年12月に策定した「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」と「青森県行財政改革大綱」を踏まえ、財政健全化努力を継続しつつ、人口減少克服をはじめとする本県の重要課題に対応するため、各種施策に総力を挙げて取り組むこととしました。

一般会計の当初予算額は、2.5％の増となり、2年連続のプラス予算となりました。また、国の経済対策に呼応しながら一体編成した令和元年度2月補正予算と合わせると7,060億円余となっています。

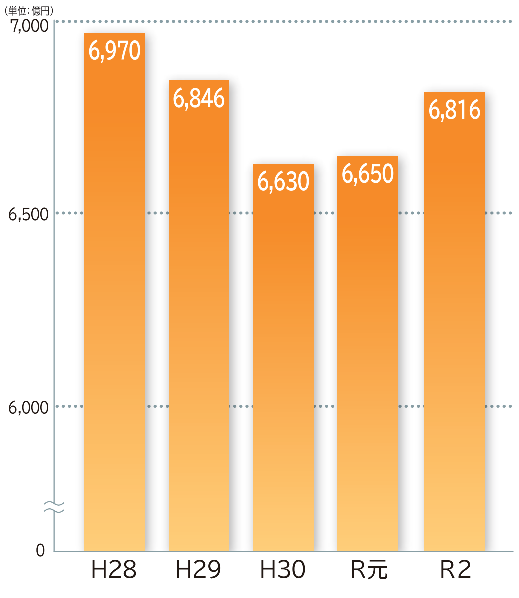
財政健全化に向けた取組

◎これまでの財政健全化努力により、県の貯金である基金の取崩額は4年連続でゼロとなり、収支均衡を維持

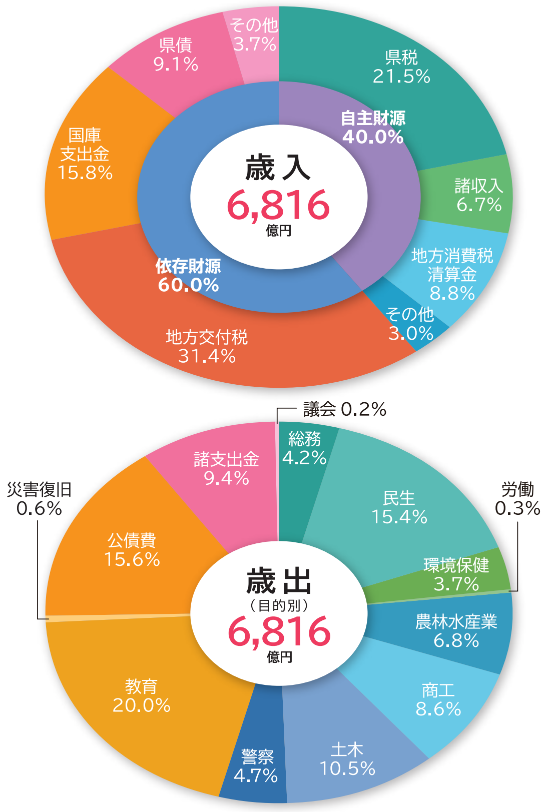
◎県の借金である県債の発行総額を抑制し、県債残高は令和2年度末で1兆258億円となる見込み（令和元年度末見込対比371億円の減）

財政課 ☎017-734-9036

当初予算額の推移



令和2年度一般会計当初予算



Happy

地元人がレポート!

地域から魅力発信! ハッピー♡リレー

vol.12 | 東青地域

浜どころ海(かい)

—外ヶ浜町—

地域の旬食材レシピ付

左から、吹田夏美さん、小鹿輝恵さん、小鹿智秋さん

津軽半島のてっぺんに誕生した 人がつながり笑顔になれる場

今別町のまちおこし団体「奥津軽ドリーム」のメンバーとして活動している小鹿輝恵さん。特産品のイカを使った「イカバーガー」を考案し、伝統芸能「荒馬」の祭り会場や、県内外のイベントで販売するなど食で地域の魅力を発信しています。

そんな小鹿さんが、長年、外ヶ浜町三厩地区で愛されてきた焼きイカ店の店主から、「高齢になり店を閉じることにしたので、私の代わりにここでお店をやらない?」という相談を受けたのは2年前のこと。当初は、そのまま焼きイカ店として引き継ぐつもりでしたが、「どうせやるなら、観光客や地域のさまざまな世代の人が食事をしながら交流し、みんなが笑顔になれる場所をつくりたい!」と、一念発起。2019年、「浜どころ海」をオープンしました。

漁師である夫の智秋さんや、漁師仲間が水揚げした新鮮な魚介類を使って小鹿さんが作る家庭的な料理が大好評!釣り人や観光客だけでなく、地元の独り暮らしの高齢者が訪れたり、自転車で海水浴に行く子どもたちが立ち寄るなど、世代を超えた地域交流の場となっています。

「観光客の方から、隣接する義経寺について聞かれることも多いので、今後は地元の歴史や文化を学び、観光客の方にもっと青森を楽しんでもらいたい」と、小鹿さん。持ち前の明るい笑顔で、観光客や地域の人々との温かな交流が広がっています。

浜どころ海(かい)

メニューは当日の仕入れ次第。旬の魚介類を使った日替わり定食(700円)や丼などを中心に提供しています。

〔場所〕東津軽郡外ヶ浜町三厩本町5
〔TEL〕090-5835-0140
〔営業時間〕11:30～15:00
※夜は予約制。1名様から予約OK
〔定休日〕不定休
@kaimaru00

Profile

浜どころ海(かい)

外ヶ浜町の三厩漁港の向かい、義経寺に隣接する食事処。春はカレイ、サーモン、タイ、若生昆布、6～7月はウニ、冬はマグロなど、旬の魚介類を使った食事が楽しめます。その他、季節によって自家製の塩辛、のしイカ、地元の婦人部による餅などの販売も行っています。

今回の推薦者

青森市在住
高木(たかぎ)まゆみさん

今別町出身。2008年から地域の暮らしや生活文化を紹介するツアーを企画。来訪者も地元の人も感動を分かち合う着地型観光に取り組み、11年に「また旅くらぶ」を設立、代表取締役を務める。むつ湾フェリーで野生のイルカウォッチング「イルかいないかツアー」も大好評!

智秋さんが釣ったイカで自家製の塩辛やスルメも製造。

ヒラメやカレイの漬け丼もおススメ!

高木さんが選ぶ地域の旬食材 わかめ

Healthy Point

- 低カロリーで食物繊維たっぷり
- カリウムで余分な塩分を排出!

わかめとえのきのさっぱり生姜炒め

エネルギー:78kcal・塩分1.5g (1人分)

[材料:4人前]

生わかめ	200g
えのき	100g
しょうが	20g
ごま油	大さじ1
白ごま	大さじ1
[A]	
しょうゆ	大さじ1
みりん	大さじ1
酒	大さじ1
きび砂糖	小さじ1

[作り方]

1. 生わかめは一口大に、えのきは3cm幅にカット。しょうがは、皮ごと千切りに。
2. 調味料[A]を混ぜ合わせる。
3. フライパンにごま油を入れ、しょうがを炒める
4. しょうがの香りがしてきたら、わかめ、えのきを加えて炒める。
5. 2と白ごまを指ですり潰しながら加え、かるく炒めたら完成。

なぎさPoint
えのきの代わりに、他のきのこを使っても食感が変わって楽しめます!

ヘルシーにボリュームアップ! わかめ入り麻婆豆腐完成!

いつもの麻婆豆腐にわかめを加えるだけ。

冷蔵なら3日間、冷凍なら5日間保存OK!

食育料理家
フードクリニック「なぎさカフェ」オーナーシェフ
なぎさ なおこ

八戸市在住。病気予防の食事をコンセプトにした旬のやさいたっぷりの家庭料理が人気の「なぎさカフェ」を経営。食育や調理指導など講師として全国で活動中。

このレシピは
アメブロ☆幸せなぎさごはん
にも掲載しています。

レシピアレンジの詳細はFacebook
青森県広報広聴課

青森空港からの空の旅をもっと身近に！

交通政策課
谷地（やち）よし美（み）

国内線を担当しています。青森県からの航空路線が充実し交流人口の拡大が図られるよう、日々奮闘中です。

青森空港の国内線は現在、東京（羽田）、大阪（伊丹）、札幌（新千歳）、名古屋（小牧）の各空港へ、1日合計21往復運航しており、観光やビジネスの足として、多くの方々にご利用いただいています。

FDA神戸線 3月29日就航

これまでの4路線に加え、3月29日から新しい路線が仲間入りしました。フジドリームエアラインズ（FDA）による青森空港と神戸空港を結ぶ路線です。

FDAといえば、現在は青森空港から名古屋小牧空港まで1日4往復運航（冬は3往復運航）していますが、1機ごとに異なるカラフルな機体が特徴的です。飛行機に乗るたびに、「今日は何色の飛行機かな♪」と、ちょっとした楽しみも味わうことができます。

そのFDAによる神戸空港までの新しい路線。神戸空港は、神戸市の中心・三宮まで電車で約20分。神戸市内には、ポートアイランドや北野異人館街、南京町（中華街）、縁結びで有名な生田神社など、多くの観光スポットが点在しています。また、神戸空港から姫路までは電車で約60分、岡山へも新神戸から新幹線で約30分と各地へのアクセスもよく、この就航により青森県と西日本との距離がぐっと近くなりました。

今後は、旅行会社と連携しながら魅力ある旅行商品の開発や路線のPRなどを行い、西日本への新たな移動手段として県民の皆様に親しんでいただけるよう、そしてたくさんの方に関西方面から本県にお越しいただけるようがんばっていきます。

神戸の夜景 ©KOBE TOURISM BUREAU

メリケンパーク ©KOBE TOURISM BUREAU

青森空港までのアクセスも充実

青森空港までの交通手段として、青森駅と弘前バスターミナル（弘前駅経由）から連絡バスが運行されています。今春からは、弘前方面からの連絡バスの本数が増便される予定で、より利用しやすくなります。連絡バスのほかにも、キャッシュレス決済・多言語対応の配車アプリと連携した空港定額タクシーや乗り合いタクシーなども各地から運行されていますので、荷物が多い時にも安心して移動できます。青森空港までのアクセスについて、詳しくは県HPをご覧ください。

ますます便利になった青森空港からの空の旅。ぜひ、ご利用ください！

詳しくは、青森県の航空 検索　交通政策課 ☎017-734-9153

『青森の縄文遺跡群』活用推進ビジョンを策定しました

「青森の縄文遺跡群」活用推進ビジョン

～「みんなが集う憩いの場 世界に誇る『JOMON』遺跡群をめざして」～

青森県をはじめ、北海道、岩手県及び秋田県に所在する17の考古遺跡で構成される「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、2021年の世界文化遺産登録をめざしています。

そこで県では、世界遺産登録による効果を、地域づくり、人づくり、観光など幅広い分野で最大限活用するため、県民が一体となって取り組むための活動指針として「『青森の縄文遺跡群』活用推進ビジョン」を策定しました。

【将来像と基本方針】

ビジョンでは、将来像の実現をめざし、3本の基本方針を柱として、保存管理、受入態勢整備、人づくり、誘客・集客、生業づくりなど8つの分野において、行政、地域住民、関係団体等が短期（2021年前後）、中長期（2030年まで）の視点で実施する取組の方向性などを示しています。

【将来像】
みんなが集う憩いの場。世界に誇る「JOMON」遺跡群。

【基本方針】
- 『未来へつなぐ、縄文遺跡群』（保存管理、景観形成、受入態勢整備）
- 『おもてなしあふれる、縄文遺跡群』（人づくり、誘客・集客、生業づくり）
- 『世界から選ばれる、縄文遺跡群』（情報発信、多種多様な連携）

県民一人ひとりが
縄文遺跡群を大切に思い、
遺跡を活用してみんなで
地域を盛り上げていきましょう！

JOMON JAPAN 2021
縄文遺跡群は2021年の世界遺産登録をめざしています。

詳しくは、県庁HP 縄文 ビジョン 検索
世界文化遺産登録推進室 ☎017-734-9183

令和2年国勢調査の調査員を募集します！

国勢調査は、日本国内に住む全ての人と世帯を対象とする5年に1度の大調査です。大正9年（1920年）に第1回が始まってから、ちょうど100年の節目を迎える令和2年国勢調査。

国や地域が進む道筋を立てるために必要な一大プロジェクトがはじまります。この調査を行うために、青森県内で約7,000人の調査員の方が必要です。一緒に活動してくださる方を募集中。

日本の未来のために、ぜひ、あなたの力を貸してください!!

★原則20歳以上の方。
★活動期間は8月下旬～10月下旬ですが、
毎日活動するわけではありません。お仕事がある方でもできます。
★ボランティアではありません。報酬をお支払いします。

国勢調査員の仕事内容

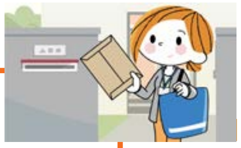
国勢調査100年 1920-2020

8月下旬
①調査員説明会に出席

9月上旬
②担当地区の確認

9月中旬
③調査の説明・調査書類の配布

10月上旬～下旬
④回答確認リーフレットの配布と調査票回収



10月下旬
⑤調査票の整理と提出

関心がある方は、お住まいの市町村統計担当窓口にお問い合わせください。

←こちらから調査員の体験談をご覧ください。

詳しくは、県庁HP 令和2年国勢調査 検索
統計分析課 ☎017-734-9164

申吾のほっとコラム

翔べ！世界へ！「縄文」世界遺産へあと一歩！

青森県知事　三村 申吾

2007年８月の北海道・北東北知事サミットで、四道県の縄文遺跡群をユネスコの世界文化遺産にと提案し、北海道・岩手・秋田の各知事の賛同のもと走り出して10年余、その間の紆余曲折は省くが、遂に本当に本当の正念場を迎える事となった。

我々が提案している「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、青森市内にある我が国最大級の縄文集落跡である特別史跡三内丸山遺跡や、環状列石、いわゆるストーンサークルが出土した史跡小牧野遺跡をはじめとする県内８つの遺跡と、北海道、岩手県、秋田県に所在する、学術的価値の高い、合わせて17の遺跡で構成されている。

この地域は津軽海峡を挟みながらも縄文時代全般を通じて同一の文化圏が形成されており、縄文時代は、世界の他の地域に見られるような農耕・牧畜を選ぶことなく、狩猟・採集・漁労を生業として定住し、１万年以上の長きにわたり平和な暮らしを続けた人類史にとって極めて重要な時代と言える。

哲学者梅原猛氏は「三内丸山遺跡は、日本人の精神の故郷だと言っても過言ではないだろう…古い日本の文化、いってみれば日本の深層を知るには縄文文化を知らねばならない。」と語っている。

今年１月16日、日本政府がユネスコに正式な推薦書を提出し、秋には最も重要な「イコモス」（国際記念物遺跡会議）による現地調査が行われる事となった。

この調査に基づき、来年夏頃に開催される世界遺産委員会で審議が行われ、登録となる。悲願達成まで遂にあと一歩。

この新たな世界遺産登録の実現は、本県の活性化を図る絶好の機会になるとともに、ふるさと青森への誇りや愛着を深めるきっかけとなり、本県の未来を切り開く確かな力にもなるものと確信する。

2021年度の登録実現に向けて、引き続き関係自治体と総力を結集し、全力で取り組むとともに、登録実現後も見据え、地域活性化に向けた遺跡の利活用などについても、しっかりと準備を進めていきたいと思っている。

県民の皆様方には、ぜひとも縄文遺跡群に足を運び、１万年以上にわたり自然と共生し、平和な社会を築き上げた先人たちの知恵と心に触れ、理解を深めていただくとともに、登録実現に向けた更なる気運醸成、よろしくお願いしたい。

AOMORI INFORMATION
あおもりインフォメーション

ご利用ください、ジョブカフェあおもり！若者の就職活動を全力でサポートします！

青森県観光物産館アスパム３階の「ジョブカフェあおもり」では、同じフロアの「ハローワークヤングプラザ」と連携し、44歳までの働きたい若者の就職活動を支援しています。

専門のキャリアカウンセラーによる就職相談、就活応援セミナー等を無料で受けられる他、館内ではパソコンや職業適性診断が利用できます。また、弘前や八戸、むつに「サテライトスポット」を設置し、県内で就職活動を行う皆さんのご利用をお待ちしています。

詳しくは、ジョブカフェあおもり 検索

ジョブカフェあおもり ☎017-731-1311

山火事にご注意を！～守りたい 森と未来を 炎から～

4月1日から6月10日までは「山火事防止運動強調期間」です。春は、野山が乾燥して山火事が発生しやすく、県内では、4月から5月にかけて最も多く発生しています。その原因の多くは、たき火やタバコの不始末など、ちょっとした不注意によるものです。

春は暖かさが増し、農作業や山菜採りなど山林やその周辺への出入りが多くなる季節です。私たち一人一人が注意して山火事を防ぎ、大切な森林を未来に引き継ぎましょう。

詳しくは、県庁HP 山火事防止 検索　林政課 ☎017-734-9513

特別展「縄文マジカル」開催！

縄文時代のマジカル（神秘的）な道具には代表的なものとして土偶がありますが、そのほかにも石棒や土面、イノシシやクマを模した土製品など、縄文の豊かな精神世界を表す道具は実に多彩です。

この特別展では考古学はもとより、民族学や民俗学、図像学など、さまざまな側面から縄文文化のこころに迫ります。

猪形土製品
重要文化財（弘前市立博物館蔵）
［5月12日(火)～6月21日(日)展示予定］

■会　期：4月18日(土)～6月21日(日)
■場　所：三内丸山遺跡センター企画展示室
■観覧料：一般800円、高校生・大学生400円(20名以上の団体割引あり)、中学生以下無料

詳しくは、三内丸山遺跡 検索　三内丸山遺跡センター ☎017-766-8282

青森県のために実現したいことがあるならぜひ青森県職員に！

令和２年度青森県職員採用試験は次の日程で実施します。

試験区分	受付期間	第１次試験
大卒程度 大卒程度・社会人枠	5月8日(金)～5月29日(金)　インターネットは5月27日(水)まで	6月28日(日) 青森市・東京都
短大卒程度 高卒程度	8月3日(月)～8月28日(金)　インターネットは8月26日(水)まで	9月27日(日) 青森市・弘前市・八戸市

試験概要や仕事内容などを紹介している『【令和２年度版】青森県職員採用総合案内（パンフレット）』を配布中！ホームページでご覧いただけるほか、県庁正面受付などでも入手できます。

詳しくは、県庁HP 青森県職員採用案内 検索

人事委員会事務局 ☎017-734-9829

みなさんと県庁を結ぶ 県政インフォメーション

テレビ ■RAB「LINK／青森県」(30秒スポット) ■RAB「大好き、青森県。」(第三日曜日) 17:00～17:15［放送週が変更になることがあります］ ■ATV「みんなの県庁！」(土) 16:55～17:00 ■ABA「メッセージ」(土) 9:30～9:35
ラジオ ■RAB「青森県広報タイム」(月)～(木) 7:30～7:35 ■エフエム青森「あおもり・ふぁん」(月)～(金) 16:55～17:00 ■エフエム青森「申吾のほっとチャンネル」(第一日曜日) 7:00～7:30
新　聞 ■「広報あおもりけん」(毎月1日・16日) 東奥日報・デーリー東北・陸奥新報
HP/Twitter ■県のホームページ http://www.pref.aomori.lg.jp/ ■青森県庁Twitterアカウント (@AomoriPref)

編集発行 青森県広報広聴課 〒030-8570 青森市長島1-1-1 ☎017-734-9137 ※「県民だよりあおもり」は偶数月発行です。※点字版・録音版をご希望の方は広報広聴課までお知らせください。
※今後の広報紙制作の参考とするため、「県民だよりあおもり」に関する皆さまのご意見・ご感想を郵送でお寄せください。
この印刷物は520,000部作成し、印刷経費は１部当たり9.4円です。

県では、財源確保などのため広告を掲載しています。なお、掲載する広告は、青森県が推奨するものではなく、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。